

2024年10月23日

株式会社IHI

航空・宇宙・防衛事業領域説明会 主な質疑応答

1. 2030年度および2040年度 売上収益等の見通しについて

- ・ 初めてお示しする数字となる。
- ・ 営業利益率は民間エンジン事業では2030年度に20%、事業領域全体では15%程度を目指す。
(為替などの外部要因は織り込んでいない)
- ・ 民間エンジン事業は当面、市場成長をしっかり取り込むべく、売り上げ拡大を目指す。新たなエンジンプログラムが立ち上がることもあり、利益率が必ずしも右肩上がりとはならないことが想定される中、2030年度における営業利益率20%を目指していく。

2. 民間エンジン事業の今後について

- ・ 民間エンジンの開発において、そのリスクを考慮し、複数企業の協力体制という形は大きく変わらないと考えるが、情報共有体制の見直し等、引き続き議論をしていくことが必要と考えている。
- ・ スペアパーツ・整備を含めたアフターマーケット需要の取り込みにもしっかり取り組んでいく。整備拠点である鶴ヶ島工場の受け入れ能力増強は計画通り。付加価値の高い修理案件のボリュームも増やしていく。

3. 防衛関連事業について

- ・ 防衛関連事業の利益率は、ベースは最大10%を目指す。民間エンジン事業と異なり、研究開発の段階から国の予算が適用される。ミサイル関係は下請けの立場でコンポーネントを提供する形となるが、利益率のレベルに違いは無いと理解している。
- ・ 海外事業の機会は増えていくと考えているが、現時点では限定的な規模。次期戦闘機等で自社の強みを生かして貢献していきたい。

以上